

# 被災地に寄り添い 今、できること



## 医学生被災地支援ボランティア募集

日時: 2014年2月28日(金)~3月1日(土)

場所: 宮城県山元町

内容: 仮設住宅での健康相談

※内容は現地との調整により変更になる場合があります。

持ち物 雨具、着替え、健康保険証、現金

費用 自己負担は3,000円

※ボランティア保険に未加入の方は、加入金(500円)が必要です。

定員 5名

〆切 2月13日(木)午後5時まで

### タイムスケジュール(予定)

#### ◆1日目

18:45 伊丹空港集合

21:00 仙台空港到着

22:00 支援センター到着

#### ◆2日目

9:00 活動開始

15:00 支援終了

17:35 仙台空港出発

19:15 伊丹空港到着

### ☆お申込み先☆

兵庫民医連・医学生ボランティア係 E-mail: igakusei@hyogo-min.com

※件名に「被災地支援ボランティア参加希望」と入力、本文に「名前・学校名・学年・年齢・性別・住所・電話番号」を入力下さい。

【兵庫民医連】神戸市中央区港島南町 5-3-7 TEL:078-303-7351



これまでに多くの医学生のみなさんがボランティアに参加してくれています。  
前回参加したみなさんの感想を一部紹介します。

初めは、2日間のボランティアでできる事はとても小さな事で、学ぶことをしっかり学ぼう。東北の現状を自分の目で見、感じ、考えることに意味があるのだと考えました。高齢者の方達と触れ合い、関われることで、すごく喜んでくれていました。将来、医師になった時の最も基本的なやりがいを感じることができました

近畿大学1年生 Aくん

震災から2年が経過しているが、津波の被害を受けた地域の復興はあまり進んでいない印象を受けた。ガレキ類は片付いているが、家の再建やコミュニティの構築などはまだまだであると思う。

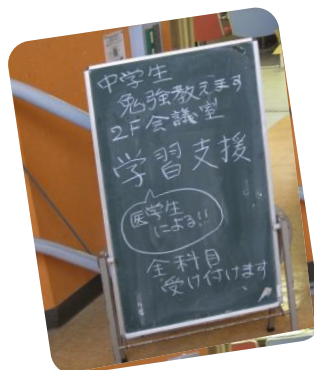
近畿大学1年生 Bくん

閑上地区には、個人的に4ヶ月前にも来ていましたが、それからあまり変わっていなかった。2年間という月日が風化させたのは、震災の記憶だけでなく、ある意味で、被災者の方々の気勢もそうなのではないかと感じた。

大阪医科大学2年生 Cさん

老人憩いの家での運動や手作業によって生まれる笑顔が被災者の心をいやすことが分かり、こういったことが健康にもつながり、大切なのだと感じた。

関西医科大学2年生 Dくん



これまでのボランティア活動の内容はホームページからご覧いただけます。

[兵庫民医連](#) [医学生](#) で検索♪